

2014年1月特別会議 意見書案に対する討論

2014年1月10日

石黒 賀津子

私は日本共産党大津市会議員団を代表し、意見書案第1号 第79回国民体育大会においてびわこ文化公園都市を主会場に決定することを求める意見書案についての賛成討論を行います。

スポーツは国民の健康で幸福な生活に欠かせません。しかし、少なくない国民は、スポーツをしたいと思っているにもかかわらず、雇用の不安定、長時間労働、低い賃金のもとで生活に余裕がなく、スポーツする時間がとれない、施設が近くにない、費用がかかるなどの理由でスポーツから遠ざけられています。国民の経済生活の安定を図り、スポーツに楽しむ諸条件を整えていくことは国の役割です。

日本共産党は、スポーツを国民の基本的権利として保障し、スポーツの多面的な発展を図り、それを推進するスポーツ行政の充実に力を尽くすものです。

そして、国体の目的は、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することにあります。しかし、一方では開催府県が勝敗にこだわり、選手を集めるなど大会規模が年々大きくなり、施設整備に膨大な費用がかかるなどの批判も出ています。

この意見書案で求めているように、大津市のびわこ文化公園都市を主会場とすることは、大津市民がスポーツに関心を深めるとともに、今後の大津市のスポーツ振興を推進する役割を果たすと考えます。しかし、びわこ文化公園都市の施設配置計画案に対する概算事業費は約217億円と、他の候補地と比べても最も高額になっています。

大津市は、施設整備にあたっては、予算を組む段階からスポーツ団体や競技団体の意見を聞き、県民本位、選手が主人公を柱に据え、むだと浪費をなくし、コンパクトなものにすること、また障がい者や高齢者も使いやすい施設整備を進め、大会後も開かれた施設として県民が気軽にスポーツ文化を楽しめる施設とすることを求め、賛成討論といたします。